

佐賀県立博物館の紹介

佐賀県立博物館は1970年(昭和45年)に開館しました。佐賀の自然や歴史・工芸・美術、人々のくらしなどを紹介し、未来に伝えていくために佐賀県がつくれた施設です。

4つの展示室や収蔵庫(大事なものを保管する場所)などがある、3階建ての建物です。

博物館では、館長、副館長をはじめ学芸員、事務職員、警備員、清掃員、受付職員などのたくさんの職員が働いています。

学芸員ってどんな仕事?

- 自然や歴史、人々のくらしに関わる資料を集め(収集)、保管する
- 自然や歴史、人々のくらしについて調査・研究を行う
- 集めたものや調べて分かったことを展示して紹介する
- 展示資料について分からることは学芸員に聞いてみましょう

博物館からの4つのお願い

- 展示品に触らないでください
(大切な資料が汚れたり壊れたりします)
- 大きな声で話さないでください(他のお客様の迷惑になります)
- 走らないでください(他のお客様や展示品にぶつかる危険があります)
- メモをとる時は鉛筆やシャープペンシルを使ってください





さが 佐賀の自然



さがだいち
佐賀の大地のなりたちや化石、植物、動物について調べましょう。

1 写真は佐賀の大地の基盤となっている岩石です。次のどれでどうでしょうか。
みかけ石とよばれることもあります。



□アンサン岩 □リュウモン岩 □カコウ岩

2 写真は佐賀で見つかった3400万年前～2300万年前の海に住んでいた生き物の化石です。次のどれでどうでしょうか。



□カラツキリガイダマシ
□ヨコヤマオウムガイ □ヒタチオビガイ

天然記念物とは…

どうぶつせいそくちはんしょくちおよとりいちふくしょくぶつ
動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む)、植物
じせいちふくおよちしきぶつとくいしせんげん
(自生地を含む)及び地質鉱物(特異な自然の現
じょうじょうじょうとちふくわくくにがく
象の生じている土地を含む)で我が国にとって学
じゅつけうかちたかふんかさいほごほう
術上価値の高いもの【文化財保護法】

さがけんみてんねんきねんぶつほか
佐賀県で見られる天然記念物は他にもあります。
さがけんさが
佐賀県マップで探してみましょう。

3 下の写真は、佐賀県で見られる天然記念物です。名前を書きましょう。



は
自然に生えている場
じょじせいちは
所(自生地)は佐賀市
くぼいすみまち
久保泉町です。

1906年(明治39年)に黒
かみやまたけおしありたちょう
髪山(武雄市・有田町)で
はじはつけん
初めて発見されました。



撮影:上赤博文氏



さがけんちょう
佐賀の県鳥です。
「カチガラス」とも
よばれています。

おおむかし
大昔からほとんど姿
が変わらないため、
「生きている化石」と
もよばれています。



4 下の写真は有明海の干潟でみられる植物や動物です。名前を書きましょう。



撮影:栗山千速氏
秋になると葉が緑色から赤色になります。



せかいてきかずすくわたどり
世界的に数が少ない渡り鳥です。
ふゆご
冬を越すために有明海にやってきます。



提供:佐賀県立宇宙科学館
めたいかはだかお
眼は退化し、歯がむき出しになった顔が
とくちょうさかな
特徴の魚です。



提供:佐賀県観光連盟
おすめす
雄はジャンプして雌にプロポーズします。



ひがしひがたさがしひぜんかしまひがたかしまじ
東よか干潟(佐賀市)や肥前鹿島干潟(鹿島市)はラムサール条約湿地です。

5 佐賀の森林にはどんな生き物がいるでしょう。
「森林のジオラマ」で見つけた植物や生き物の名前を書きましょう。



さがれきし 佐賀の歴史



おおむかし ひとびと
大昔の人々の暮らしについて学びましょう。

- 1 この「矢じり」に使われている「黒い石」と「灰色の石」の名前は何でしょくか。



いま やく まん ねんまえ ひとびと こしだけ いまりし
今から約1万2000年前にくらしていた人々は、腰岳(伊万里市)と
おに はなやま たくし いし どうぐ か
鬼の鼻山(多久市)でとれる石で道具をつくり、狩りをしていました。

くろ いし
黒い石



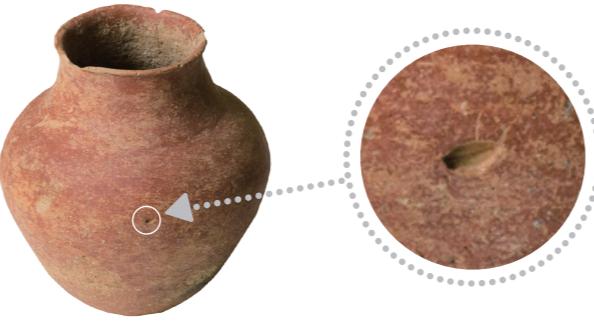
はいいろ いし
灰色の石



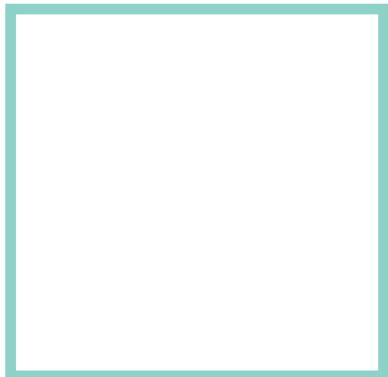
- 2 この赤い壺の表面についているのは
何の痕でしょくか。次から選びましょう。

やよい じだい ちゅうごくたいりく ちょうせんはんとう けいゆ
弥生時代、中国大陸から朝鮮半島を経由して
日本に伝わった食べ物です。

いね もみ 稲(粉)
こ むぎ 小麦
だい づ 大豆



- 3 弥生人は勾玉をつくるてアクセサリーなどにしていました。
勾玉はどんな形をしているのか、描いてみましょう。



さがけんない おもからつちいき いせき
佐賀県内では、主に唐津地域の遺跡から、
ヒスイで作られた勾玉がたくさん見つかっています。
よしのがり いせき かんさきし よしのがりちょう
吉野ヶ里遺跡(神埼市・吉野ヶ里町)でも
み見つかっています。



- 4 これは今から約1500年前の
古墳時代に作られたものです。
何に使っていたのか、次から
選びましょう。

あそ ようけつようかいがん いし けず
阿蘇溶結凝灰岩という石を削って
作られています。
身分の高い人に使われていました。



ふろ 風呂
はか 墓
ふね 舟

- 5 戦国時代から明治時代に活躍した人を探しましよう。



ひと ひぜんのくに むかし さがけん ながさきけん
この人は肥前国(昔の佐賀県・長崎県の
いちふ せんごくだいみょう ごしうに とう たいしゅ
一部)の戦国大名です。「五州二島の太守」
とよばれ、九州は大友氏・島津氏と、この
だいみょう さんし あらそ
大名の三氏で争わっていました。



ひと さがはん だいめ はんしゅ とのさま
この人は佐賀藩10代目の藩主(お殿様)です。
にほん さいしょ てつせいいたいほう
日本で最初に鉄製大砲や実用蒸気船
りょうふうまる
「凌風丸」をつくらせた人です。

公益財団法人鍋島報效会

- 6 下の写真は何の写真でしょくか。



かわら つか しろ なまえ なん
この瓦が使われていたお城の名前は何でしょくか。これは江戸時代に佐賀藩を治めていた鍋島家の城のものです。本丸には雄大な「鰐の門」が存在しています。



うみ うえ てつどう はし
これは海の上に鉄道を走らせるために
つくられた築堤の再現展示です。明治5
ねん ねん おおくましげのぶ じんりょく
年に(1872年)、大隈重信の尽力により、日本初の鉄道が開業しました。



さが こうげい びじゅつ 佐賀の工芸・美術

さが こうげいひん びじゅつひん さが
佐賀の工芸品や美術品を探しましょう。

- 1 さがけん そものおりもの たけこうげい きんこうひん
佐賀県には、やきものや染め物、織物、ガラスや竹工芸、金工品など
たくさんの工芸品があります。

展示室にある工芸品は、生活の中でどんな使い方をされているでしょうか。



み
見つけた
こうげいひん
工芸品を
スケッチしよう

(1) 何を見つけたかな? 例: 染め物



(2) どうやって使うものかな? 例: 着る

(3) どんな飾りや模様があったかな?

- 2 つき ひじゅつさくひん さくしゃ ひと だれ
次の美術作品の作者(かいた人)は誰でしょうか。



さがはん だいめ はんしゅ がか 「寿老人・花鳥図」
佐賀藩3代目の藩主で、画家さながらの
絵を描いたり、詩をつくることを得意としました。



めいじじだいがいむきょう かつやく
明治時代に外務卿としても活躍した
七賢人の一人です。「蒼海」や
「一々学人」の号で独特な書を書きました。



さがけんしゅっしん にほんきんだいよう がか おかださぶろうすけ とうきょうと
佐賀県出身の日本近代洋画家、岡田三郎助が東京都
渋谷区恵比寿で暮らしていた際のアトリエ(作業場)
です。女性を対象とした美術教育も行いました。
2018年に佐賀県立博物館東隣に移築・復原され、
2022年には国の登録有形文化財(建造物)となりました。

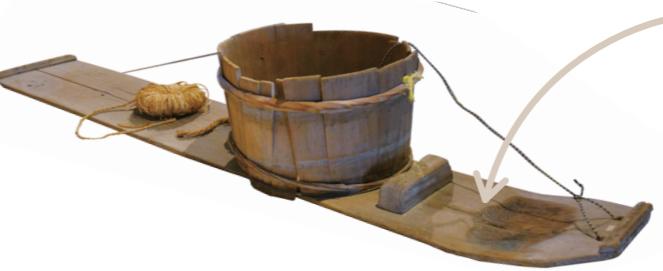


さが みんぞく 佐賀の民俗

さが ひとびと つか むかし どうぐ まな
佐賀の人々が使っていた昔の道具について学びましょう。

- 1 しゃしん どうぐ なまえ つか かた か
写真の道具の名前と使い方を書きましょう。

ぎょろう さかな
漁撈(魚をとる)



ありあけかい い もの と ひがた うえ
有明海の生き物を獲るために、干潟の上を

いどう するための道具。



くじらとり



くじら
鯨をつかまえるための大砲。

つつなか 筒の中にロープのついた□□を
いつかどう 入れて使う道具。



こめ
米づくり



さがへいや つか
佐賀平野で使われていた鋤。

たはた 田畠を □□□□ どうぐ 道具。



- 2 あ ことば か
□に当てはまる言葉をひらがなで書きましょう。

ありあけかい □□□
有明海の □□□ の広さは日本一であり、

かんちょうしお ひ とき まんちょうしお み
干潮(潮が引いている時)と満潮(潮が満ちている時)の □□□□ 差
さいだいじ メートル にほんいち
(最大時でおよそ6m)も日本一です。

